

2020年9月4日

国民民主党の解散と合流新党結成に向けたJAM書記長談話

JAM

書記長 中井寛哉

連合と国民民主党、立憲民主党は8月27日、両党が解散して結成する合流新党と連合が共有する「理念」を確認し、発表した。連合も9月1日の三役意見交換会で、「連合総体として新党を支援する」との申し合わせを行った。

国民民主党を支援する民間6産別は8月30日に、組織内国会議員の合流新党への参加を見送ることと合わせて、「『共有する理念』を連合と締結した『合流新党』についてはこれを支援する」ことを確認した。

「連合の政策と同一歩調がとれる政治勢力による、政権を担いうる“大きな塊”の結集」は、JAMが求めてきたものである。よってJAMは、今般の国民民主党と立憲民主党を中心とした合流新党の結成を歓迎する。

JAMは、8月27日の第22回定期大会で採択した「第25回参議院議員選挙総括」において、2025年参院選でのJAM組織内議員復活に照準をあて、次期参議院比例代表選挙を絶対に勝利する決意を確認した。

JAMは、今回の動きで“大きな塊”づくりが完成したものではなく、さらなる大きな塊づくりが必要と考える。今後も、連合と理念を共有する勢力の連携と結集を望むものである。

JAMの組織内地方議員においても、日程の限られる中で政党所属の判断を迫られている議員も少なくない。以上に記した考え方を基本に、地方・地域・選挙区の状況を踏まえて、出身組織並びに地方JAMの連携の下で、各議員による判断を要請し、JAMはその結果を尊重する。

これまで「国民民主党を基軸とし連合が支援する政党」としてきたJAMの支持・協力政党については、今後、状況を見定める中で議論を展開し、改めて機関決定していく。

以上